

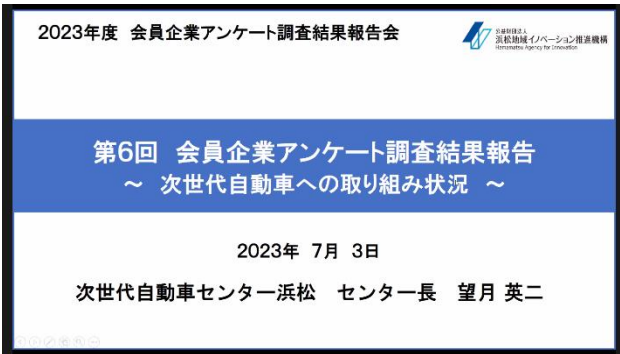
次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol.192

■ 2023 年度会員企業アンケート調査結果報告会（会員限定）  
～ 第 6 回会員企業アンケート調査  
次世代自動車への取り組み状況報告 ～

次世代自動車センター浜松では、毎年度、会員企業の皆様にご協力いただき、会員企業の皆様の次世代自動車に対する対応状況等を把握するとともに、当センターで実施する事業の参考とすることを目的とした「会員企業アンケート調査」を実施しています。

今回は、今年 2 月に第 6 回アンケート調査を実施した結果について、当センターの望月センター長による「会員企業アンケート調査結果報告会」を We b 形式により開催しました。

- 日 時 : 令和 6 年 7 月 3 日 ( 月 ) 13 時 30 分～14 時 40 分
- 場 所 : We b 形式
- 参加者 : 4 4 社 / 4 8 名



38 第6回会員企業アンケート調査結果 《 目的とアンケート調査対象の属性 》

第6回会員企業アンケート調査の目的 ( '23年2月実施 )

会員企業の次世代自動車に対する影響度の意識レベルの変化と取り組み状況の変化を調査し、支援事業による効果や新規支援事業への反映。

第6回会員企業アンケート調査対象の属性

- 調査結果の分析対象とした会員企業数 493社
- 回答した会員企業数 205社 ( 回答率 41. 6% )

43 第6回会員企業アンケート調査結果 《 「CASE」に対する取り組み状況 》

( 2-2 ) 次世代自動車「E: 電動化」に対する取り組み状況の変化 ( 第2回～第6回 )

調査対象 会員企業数	「E: 電動化」に対する取り組み状況				
	何もしていない	調査中	開発中	量産中	分らない その他
第2回 ( '19年2月実施 )	15 15.0%	38 37.0%	30 30.0%	13 13.0%	5 5.0%
第3回 ( '20年2月実施 )	18 20.0%	22 24.0%	36 39.0%	14 15.0%	2 2.0%
第4回 ( '21年2月実施 )	20 17.0%	34 28.0%	39 33.0%	22 18.0%	5 4.0%
第5回 ( '22年2月実施 )	24 16.0%	49 34.0%	43 30.0%	24 17.0%	4 3.0%
第6回 ( '23年2月実施 )	33 16.1%	72 35.1%	57 27.8%	36 17.6%	7 3.4%

49 第6回会員企業アンケート調査結果 《 2023年度の事業内容 》

( 3-1 ) 30項目の開催支援事業の人気ランキング投票結果

ランキング「ベスト 5」	ランキング「ワースト 5」
( 1 ) 技術動向講演会 ( CASE )	( 1 ) 工学系学生の インターンシップ
( 2 ) 次世代自動車フォーラム	( 2 ) 現場改善のための企業訪問
( 3 ) 次世代自動車関連の 製造現場見学会	( 3 ) ものづくり中小企業向け 固有技術探索活動
( 4 ) 技術動向講演会 ( カーボンニュートラル対応 )	( 4 ) 開発企業向け 固有技術探索活動
( 5 ) 車両分解活動 ( 中国製電気自動車 )	( 5 ) 自動車工学基礎講座 ( 新安全の基礎 )

50 第6回会員企業アンケート調査結果 《 2023年度の事業内容 》

( 3-2 ) 車両分解活動及び部品ベンチマーク活動の分解調査対象部品  
【 分解調査したい車両あるいは部品の希望を調査。 】

分解調査対象部品	業 務						複数回答あり 件数
	鍛造・鍛造	金型 機械加工	プレス加工 溶接	樹脂・ゴム 成形	電気・電子 組立・配線	その他	
電動パワ トレイ			2		2		3
モーター本体							2
モーターシフト	1						1
シフト ( マニュアル駆動 )	3	6					9
ケース ( モーター・インバーター )	4	3	4				11
インバーター ( ケース・マイク )	4	4	5	1			14
電動機	1						1
( ボンゴコンプレッサー )							1
熱マネジメント部品	2	5	4				11
センサー類				1	2		3
その他	3	1	1	1	1	1	8

### 【参加者の声】

- ・ 会員企業の動向が把握でき、弊社の取り組みに良い刺激となる。
- ・ 各社の取り組み状況を知ることができ、特に電動化については先行開発企業となっているところが増えていると感じた。
- ・ 取り組み活動の全体内容を理解することができ、他社がどのような取り組みでセンターを活用しているのか分かった。
- ・ 同業の金属加工業の他社の動向が分かり、弊社の立ち位置を知ることができた。
- ・ CASE での各社の影響状況等が参考になった。
- ・ いろいろな会員企業様の注目点や気にされていることが理解できた。
- ・ 他の会員企業の取り組み状況が、自社と比較してどの程度か確認できた。
- ・ 毎年会員数が増えていることから次世代開発への影響・関心の高さが伺えた。また、各社の次世代開発では、電動化に向けての取り組み状況が高いという動向も知ることができ、今後の開発活動を行うための参考となった。
- ・ 次世代自動車センターの活動等を知る良い機会になった。
- ・ 次世代自動車センターの活動全体像の概要を改めて視覚的に確認が出来た。他社の状況等の情報を得ることが出来た。
- ・ 次世代自動車センターの取組み内容とその狙い、各会員企業の状況を再確認することができた。
- ・ 次世代自動車センターの取り組みに関する理解が深まった。もっと有効的に利用、相談していこうと思った。
- ・ 昨年度の事業実績の説明があり、他の会員企業様がどのような活動に興味があるのかが明確になり、参考になった。
- ・ 現在の各社の取り組み状況が、数値(パーセンテージ)で表されて、分かりやすく参考となった。また、次世代自動車センター浜松の支援実績や今期の事業についての説明があり、今期の参加にあたり、参考となった。
- ・ 各企業の次世代自動車への各社の取り組みや、事業実績から受けられるサポート内容を把握することができた。
- ・ 23 年度の活動予定が確認できたため、参考にして参加していきたい。
- ・ 昨年度の振り返りや、各社企業の「C・A・S・E」に関する対応状況の概要把握ができた。拡張後のベンチマークルームの視察を検討したい。
- ・ 自動車産業の現状、今後の課題などが分かり参考になった。
- ・ 固有技術の活かし方を考え直す機会となった。